

まち・ひと・しごと創生 総合戦略  
第2期（令和3年度事業分）  
主要プロジェクト  
**<<外部検証>>**

（ 評価 及び 意見 ）

令和4年3月

## 外部検証（評価）

No	プロジェクト名	評価	委員評価	
			A	Z
1	いいでの子大したもんだプロジェクト	A	15	0
2	豊かで活力ある地域コミュニティの形成	A	8	2
3	町民総主役化プロジェクト	A	7	2
4	いいで田園ルネサンス	A	7	2
5	子育て世帯への総合的支援	A	12	0
6	一人ひとりに寄り添う社会の実現	A	6	2
7	町民一人ひとりの主体的な健康づくりの推進	A	10	1
8	結婚の希望の後押し支援	A	8	2
9	移住・定住、田園回帰の加速化	A	7	3
10	確かで柔軟な住環境整備	A	8	3
11	新たなツーリズムの創造	A	8	2
12	人をつなぐ、心をつなぐ交流と発信	A	9	0
13	魅力的で活力ある、力強い農林業の振興	A	9	1
14	域内循環社会の構築	A	12	0
15	地域の拠点づくりと新たな地域支えあい活動等の創造	A	10	0
16	「日本で最も美しい村」づくり	A	9	1
17	スマートカントリー構想の実現	A	7	1
18	デジタル化を活用した強固な社会基盤の確立	A	9	2
19	こだわりの産業を創る商工業基盤の強化	A	11	1
20	バイオマス産業都市構想の推進	A	10	1

## 外部検証（意見）

No.	プロジェクト名	意見
1	いいでの子大したもんだプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 次世代育成は、他のすべてのプロジェクトに関わること。自然体験、職業体験できる場を社会教育として重要視したい。親の職場体験を見学することも考えてみては。</li> <li>✓ 取り組みはとても良かったです。時間的な検討が必要だと思います。半日では大変！</li> <li>✓ 優秀で素直な子どもたちが多く残れるようにしてあげたい。</li> <li>✓ 令和4年度事業計画の参考例、良いと思う。地区公民館とも連携し、より多く町の良さを学ぶ機会が設定されることを期待する。</li> <li>✓ 数検などのチャレンジは前向きな一歩だと思う。</li> <li>✓ 子ども達の受け止め方はどうなっているのか？（のびしろがあり、個性もある）</li> <li>✓ 郷土愛を育て、将来町に定住するような教育を望む。</li> <li>✓ 成果目標にはあがっていませんが、学力向上の取り組みなど継続して進めてほしいと思います。なお、タブレットを活用した校外における補習や学習塾など、教員OBを活用して試験的に実施しては。（任意：希望者のみ）</li> <li>✓ SDGsも学習も、実体験が伴うと、子供たちの成長に良い影響があると思う。県内でもいろいろなところで室内遊戯場が整備されているところが多いが、飯豊町なら、自然を生かして、野外での本物の生きた活動体験ができる、そのことが逞しい子を育てるということの特徴にできたらいいと思う。</li> <li>✓ 探求心、考える力の向上は大切だと思うので、良い取り組みだと思います。</li> </ul>
2	豊かで活力ある地域コミュニティの形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ コロナ禍のもと、集まりにくい状況だったため、活動しにくかった。今後は各地区の計画が具体的に動き出すことを期待したい。</li> <li>✓ 地域づくり推進事業に国が推進している「有償ボランティア制度」を取り入れれば、福祉的な（除雪、地域支援）に生かせるのではないのでしょうか。</li> <li>✓ 総合戦略では明記されている「地区まちづくりセンター」という言葉が評価シートのどこにもでてこないのはなぜ？</li> <li>✓ 町政座談会での意見はどう取り上げるのか。</li> <li>✓ 地区まちづくりセンターについて、詳しくわからないが、特に若者や女性が参加しやすい組織であってほしい。</li> <li>✓ 人口減少や高齢化の急速な進展、コロナ禍における社会動態や活動の変化などへの対応のため、地域コミュニティの方向も大きく変わる必要があるが、現在、活動の主体となっている人たちには理解されていないのではな</li> </ul>

No.	プロジェクト名	意見
		<p>いか。普及啓発が必要。</p> <p>✓ コロナの中で人が集まったのコミュニティ形成は難しいと思うので、次回に期待。</p>
3	町民総主役化プロジェクト	<p>✓ コロナ禍のもと、集まりにくい状況だったため、活動しにくかった。今後は各地区の計画が具体的に動き出すことを期待したい。</p> <p>✓ ワーキンググループの提案をどのような形で行ったのか？（未来カフェ以外は？）</p> <p>✓ 「いいで未来カフェ」に期待している。若者が地域の中で活躍していく機会になってほしい。</p> <p>✓ 創意工夫をして参加しやすい環境づくりが必要であると思う。</p> <p>✓ 地域コミュニティにおける現状に対するマンネリ化、問題意識、危機意識の醸成が必要では。</p>
4	いいで田園ルネサンス	<p>✓ 屋外は別として、屋内の事業はコロナ禍で思うように進まなかったのではと思います。</p> <p>✓ 雪囲いの美しさなどの発信にも期待しています。飯豊産と水没林を軸にPR。</p> <p>✓ 実施計画は具体性を明示しては。</p> <p>✓ 自分の住む地域に価値や誇りを見出すことは重要だと思います。</p> <p>✓ いいで暮らし講座、楽しそうに興味惹かれる。</p> <p>✓ キャンプブームでもあり、キャンプを通して飯豊の良さを知るのには良い。</p>
5	子育て世帯への総合的支援	<p>✓ 祖父母等の協力を得て「放課後子ども教室」を実施し、子どもとの交流を通して地域のお年寄りの生きがいづくりの場となるような取組みを考えてみてはどうか。</p> <p>✓ 産前産後の親への支援（収入が60%）や1歳児や3歳児までの親の子育て時間の支援が必要。</p> <p>✓ 町の子育て世帯に対する経済的支援は評価できると思う。</p> <p>✓ 男性の育児休暇をいかに促進するかが、今後の課題である。</p> <p>✓ 中津川の保育園児の送迎バスに上の小学生の学童への同乗はできないのでしょうか。SDGsにもつながるのでは。</p> <p>✓ 子供や親を孤立させないあたたかいまちづくりをするために、今後もどのようなサポートがあったらいいのか、幅広く情報収集して、迅速かつ多面的なサポートができるようになったら良いと思う</p> <p>✓ 他市町村と比べても、飯豊町は充実していると思う。子ども食堂の設置を</p>

No.	プロジェクト名	意見
		考えてほしい。
6	一人ひとりに寄り添う社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ すぐに効果、成果が上がるものではないと思うが、様々な取組みがなされている点は評価できる。</li> <li>✓ 認知症サポーターの研修後の動きが生かしているか？</li> <li>✓ 老老介護（80歳を60歳が介護）を楽しく行うにはどうしたらよいか。</li> <li>✓ 成年後見センター3市5町でとあるが、きめ細かいサービスをするため、各市町に設置できないものでしょうか。</li> <li>✓ 75歳以上の後期高齢者だけの独居世帯、夫婦世帯の急増が見込まれますが、態様は全く違ってきます。これまでは結婚し、子どものいる世帯でしたが、今後は独身で子どものいない独居者がますます増えていき、これらを踏まえた対策を考えていく必要がある。</li> <li>✓ 常に「ひとり」を大切にできる町でありたい</li> </ul>
7	町民一人ひとりの主体的な健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ すぐに効果、成果が上がるものではないと思うが、様々な取組みがなされている点は評価できる。</li> <li>✓ コロナ禍で思うように進まなかったのではと思います。</li> <li>✓ 若者は忙しいので自宅での健康づくりができるような体制が必要だと思う。</li> <li>✓ 働く世代に健康教室への参加は時間的になかなか難しいものがある。自宅での運動の実践をアプリ利用でポイント化できないか。</li> <li>✓ 自身の健康は自分で管理すべき。</li> </ul>
8	結婚の希望の後押し支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ すぐに効果、成果が上がるものではないと思うが、様々な取組みがなされている点は評価できる。</li> <li>✓ コロナ禍で思うように進まなかったのではと思います。</li> <li>✓ 工夫された取組みが数多く実施されている。</li> <li>✓ やはり仲人役が必要では。参加人数も必要だが、結婚された方はどうか。</li> <li>✓ 見合い結婚の良さもあるので、現代にマッチした仲人制度を考えてみては。</li> <li>✓ 行政のアリバイ作り、自己満足に終わらないよう、どのようなことを希望するのか町内独身者の意見をよく聞いてください。</li> <li>✓ パーティー形式の婚活イベントは、異性とのコミュニケーションに苦手意識のある人にとっては、ハードルが高い。スポーツや料理・もの作りなど体験型で参加者が楽しめるものが良い。</li> <li>✓ 様々な体験型の興味深いイベントに参加してもらうことで自然に親近感や連帯感が生まれていくようなアプローチがとても良いと思う。</li> </ul>

No.	プロジェクト名	意見
9	移住・定住、田園回帰の加速化	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 活発な活動が見えます。やはりコロナがネックかな？</li> <li>✓ 引き続き移住者の積極的な受け入れを。</li> <li>✓ コロナ禍の中で地方が見直されている。この時期をチャンスと捉え、都市圏へ町の良さ、魅力を積極的にPRして移住を促す。</li> <li>✓ 外部視点からの若い協力隊員の意見を聞いてください。</li> <li>✓ 若者の転出増、冬季の住みにくさ（豪雪の厳しさ）</li> </ul>
10	確かで柔軟な住環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 空き家や廃墟となった建物の対応が心配です。町外へ流出しない住環境は計画できないか。</li> <li>✓ 住環境の整った住宅団地、飯豊型エコハウスの事業等、評価できると思う。解体の補助は現在、危険老朽化空き家に対しての補助だけであるが、もう少し範囲を広げて経済的な支援ができないでしょうか。</li> <li>✓ 空き家を賃貸・購入する際のリフォーム補助があると良い。</li> <li>✓ 危険空き家が目立ちます。</li> <li>✓ 空き家が出てからの対応ではなく、空き家を出さない政策が必要だと思う。</li> <li>✓ 空き家の増加、解体の促進の難しさあり。</li> <li>✓ 都市計画での町（商業・住宅）の形成についてどのように考えているのか。</li> </ul>
11	新たなツーリズムの創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 全国に居る地域おこし協力隊を百人近く知っていてそのパワーは凄いと感心しています。飯豊の協力隊もとてもパワフルです。地域内の若者にパワーを与えてほしい。里山開発するような協力隊居ませんか？</li> <li>✓ アルカディア観光局、いいでカヌークラブとの連携のもと、アドベンチャーツーリズムへの挑戦を。</li> <li>✓ ツーリズムは滞在期間が長いので、町を知り、交流が深まれば移住につながるきっかけになると思う。</li> <li>✓ ウイズコロナ、ポストコロナにおける関係、交流の在り方について検討が必要では。（特に町内の観光関連業者等の意見）</li> </ul>
12	人をつなぐ、心をつなぐ交流と発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 全国に居る地域おこし協力隊を百人近く知っていてそのパワーは凄いと感心しています。飯豊の協力隊もとてもパワフルです。地域内の若者にパワーを与えてほしい。</li> <li>✓ SNS 活用が大事。</li> <li>✓ アンテナショップを核に、杉並区と町が姉妹都市になればますます関係が</li> </ul>

No.	プロジェクト名	意見
		深まり、交流が活発になると思う。
13	魅力的で活力ある、力強い農林業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「農」も大切だが、「林業」にも、もっと力を入れるべきかと思う。山林が農地よりも広大なので。</li> <li>✓ 新しい農業を目指すには「農の未来賞コンテスト」を継続し、町民にアイデアを求めているかがでしょうか。</li> <li>✓ バイオガス発電から生産された液肥は、昨年、無償配布を始めたことから、利用希望者がじわじわ増加している。更なる利用拡大に期待したい。</li> </ul>
14	域内循環社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ コロナ禍で思うように進まなかったのではと思います。</li> <li>✓ 椿、財津堂自治会新春総会時の「ゼロカーボン講座」が大変よかった。町民一人ひとりの意識を高める機会を今後も設定してほしい。</li> <li>✓ 太陽光発電システムは高価であり、経済的負担が大きい。思い切った支援策を考えないと普及は難しいと思う。</li> <li>✓ 同時並行的に水道管や河川等のインフラ整備に税金を使ってください。根拠のない脱炭素に翻弄されてはいけません。（脱炭素の大義を掲げるのではなく、普通に4R運動や、バイオマス資源を活用したエネルギーの促進をテーマにするべきです。）</li> <li>✓ いろいろな再生エネルギーが着目されている。気になるのは、大型ソーラーパネルがあちこちの空き地に設置されているが、大雪で壊れている現状。</li> <li>✓ 風力発電やソーラーパネル、水力、地熱、バイオマス・・・色々大掛かりなものが多いと思うが、大掛かりなものを作れば作るほど環境も破壊している。</li> <li>✓ 飯豊町の森林や自然を壊さずに、身近に小規模で、誰もができる再エネの方法はないのか・・・子供たちにアイデア募集してみるのも楽しそう</li> </ul>
15	地域の拠点づくりと新たな地域支えあい活動等の創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ コロナ禍で思うように進まなかったのではと思います。</li> <li>✓ 支え合い活動というと高齢者を考えがちだが、支える側（地域住民）と一緒に活動しながら、情報を共有し、助け合う体制が必要だと思う。</li> <li>✓ 個別的な取組みはこれらを推進してもらいたと思いますが、最終的に目指す方向としては、地域コミュニティの形成とも関係してくるのでは。</li> <li>✓ サロン活動や100歳体操など活動は活発に行われているようですが、内部での仲間外れ等があるように聞きました。</li> <li>✓ 憩いの場につながる</li> </ul>

No.	プロジェクト名	意見
16	「日本で最も美しい村」づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 里山開発から更なるつながりが出て来る。</li> <li>✓ 職業形態が会社員方向に向かい、農業に向かう人が増えないと維持は難しい。</li> <li>✓ 具体的な取組みを明確にしてほしい。</li> <li>✓ 「日本で最も美しい村」のインナーマーケティングの強化。対外的な PR も更に力を入れてほしい。</li> <li>✓ 美しい田園散居集落の景観を後世に継承し、守り続けてほしい。また、町の観光資源としての利用も考えられると思う。</li> <li>✓ この事業をもっとビジネス化できればと思う。</li> <li>✓ SNS 等で発信していく。</li> </ul>
17	スマートカントリー構想の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 電池バレー構想の先行きが不安</li> <li>✓ 町が脱炭素社会を目指して取り組んでいることに評価したい。ただ、理解していない町民も多いと思うので、良さを十分に説明し、PR,啓蒙活動をして周知を図ることが必要と考える。</li> <li>✓ 電池バレー構想については、いつまでも引っ張っていくのではなく、立ち止まって総括する時期に来ているのでは。</li> </ul>
18	デジタル化を活用した強固な社会基盤の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ マイナンバーカードとの様々な手続きとの紐づけが待たれる。</li> <li>✓ これからの時代必要になりますね。</li> <li>✓ マイナンバーカード交付率が県内 1 位とのこと。出張申請受付等が効果的だったと思う。住民サービスに繋げてほしい。</li> <li>✓ インターネットや SNS を利用した配布物への取組みが必要</li> <li>✓ 行政のデジタル化は仕事の効率、人員削減の観点から必要であると思う。ただ、それによって住民サービスの低下にならないように願いたい。</li> <li>✓ ワーキンググループを立ち上げ、早急な対応が必要である。でないと何も進まない。(メンバー：役場職員、IT 専門家等の賢人 5 名程度)</li> <li>✓ 行政のデジタル化に留まらず、町民、特に高齢者を念頭に置いたデジタルの有効活用を希望者に対して試行的、モデル的に実施してみたい。</li> <li>✓ やまがた e 申請がわかりません。</li> <li>✓ 更なる</li> </ul>
19	こだわりの産業を創る商工業基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 体が不自由になり、思うように動けない高齢者のために、買物弱者支援策の充実が必要であると思う。</li> </ul>

No.	プロジェクト名	意見
20	バイオマス産業都市構 想の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 里山開発から更なるつながりが出て来る。</li> <li>✓ 町の大部分は山林であり、豊富な森林資源を生かした、新たな仕事が生 まれないものか。起業型地域おこし協力隊に期待したい。</li> <li>✓ 地籍調査が最優先（早急に！）森林環境譲与税を活用してください。</li> <li>✓</li> </ul>